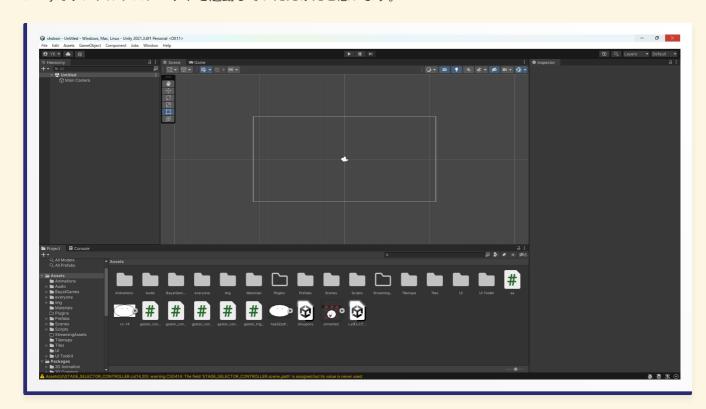
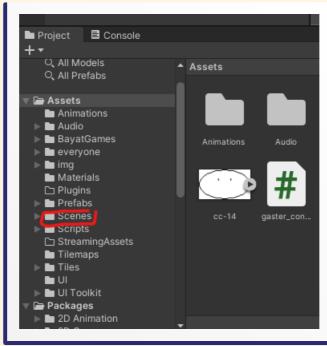
# 開発体験

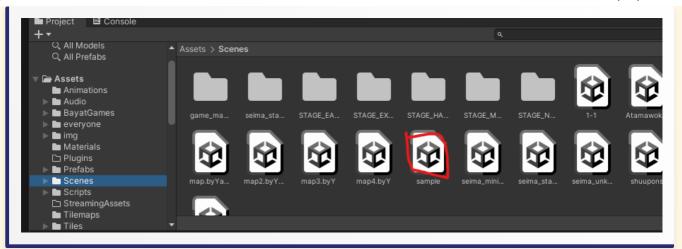
#### 開発体験

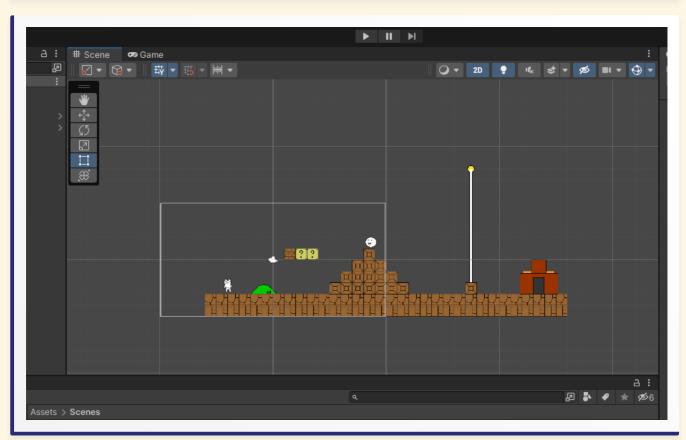
Unityでサンプルプロジェクトを起動していただけたと思います。





sampleという名前のファイルをダブルクリックしてください



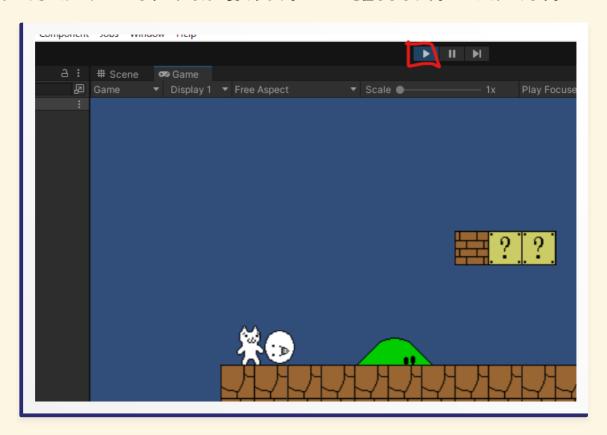


すると、なんか見覚えがありそうなステージが出てきます。

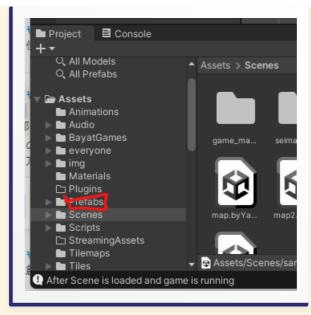
じゃあ、遊んでみましょう。 操作はAで左、Dで右に移動、スペースでジャンプです。



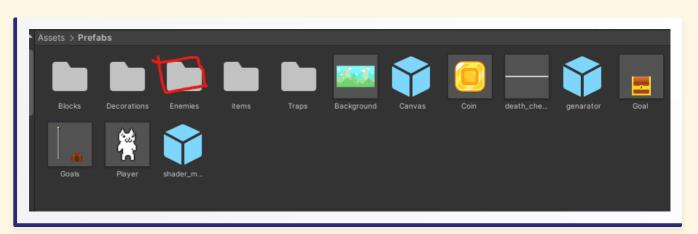
なんかてきっぽいやつがいますが、なんか変ですよね。こいつを直しましょう。いったん止めます。



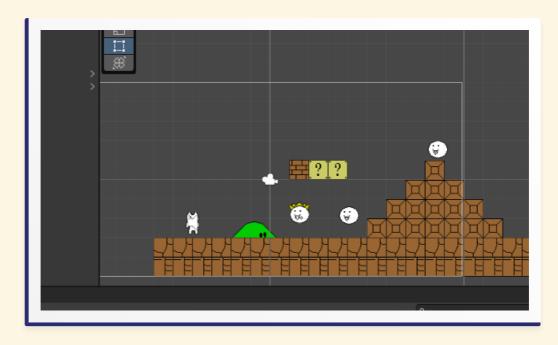
「Prefab」というフォルダを開きます



そして、「Enemy」というフォルダを**ダブルクリック**で開きます。



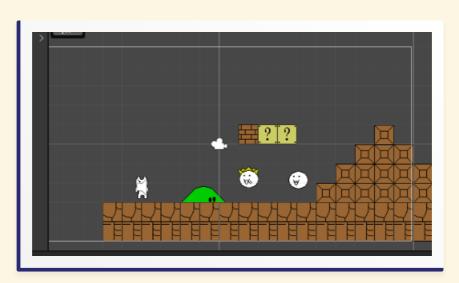
では、好きな敵を選んで、ドラッグ&ドロップでシーンの上においてください。(マウスを押し込んで、そのままシーンの上まで動かし、そこでマウスを離す)



そして、さっきのおかしかった敵を消します。 おかしい敵をクリックして、



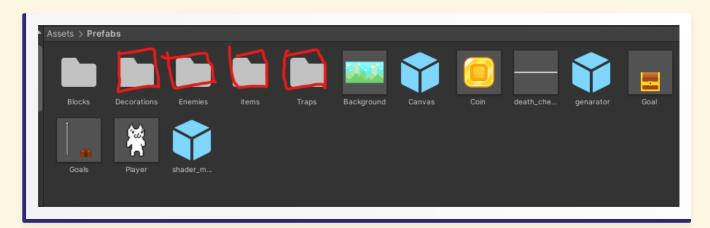
「Delete」キーを押してください。(Back spaceは消えないので注意)



では、もう一度先ほどの手順で遊んでみましょう

ここからは、あなたはあなただけのステージを作ってみましょう。

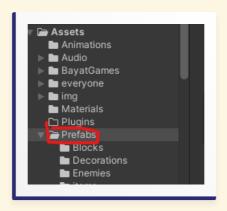
先ほどの「Prefab」というフォルダの中の、 Decorations、Enemies、Items、Trapsのフォルダをダブルクリックして、自分の好きなものを探して、ステージの上に設置してみましょう。



自分だけのステージを創ってみましょう。そして、仲間とも共有してみましょう。

## チョイ発展

今までは、まるでマリオメーカーみたいな感じですけど、ちょっと発展したことをしみます。 それは、アイテムとアイテムを関連させることです。

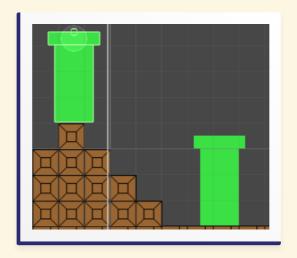




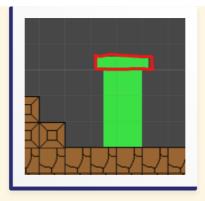


この土管っぽいアイテムをドラッグ&ドロップで設置してください。

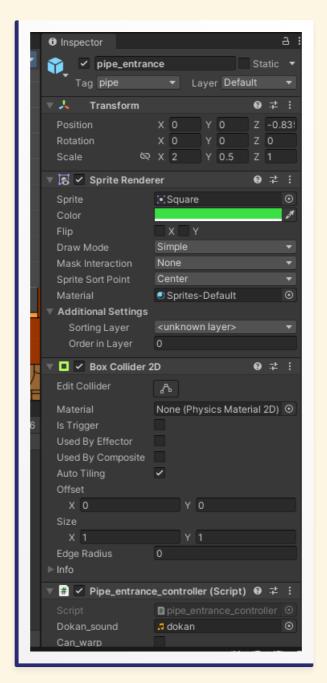
ここで、2つ土管を設置します。



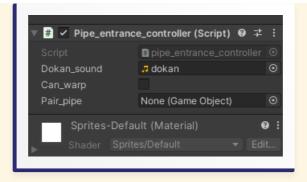
そして、一つ目の土管の上の部分をダブルクリックして、Inspectorのウィンドウを開いてください。



すると、右側にこんなのが出てくる



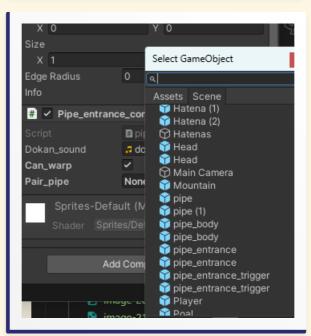
少し下にスライドして



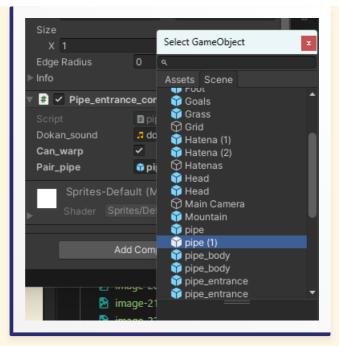
Can\_warpという項目があるので、チェックを入れます。

#### そして





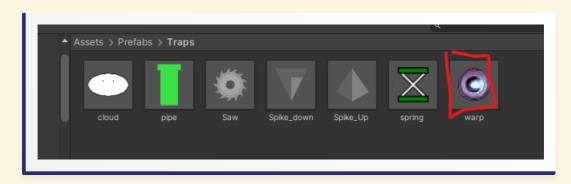
「pipe(1)」という項目を選択します



これで、一つ目の土管が二つ目の土管にワープするようになります。

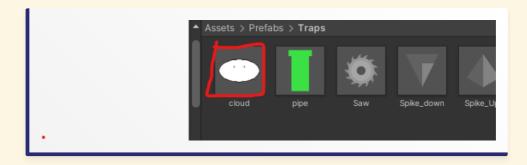
実際に遊んで試してみてください。

これと同様のことが、warpでもできます。

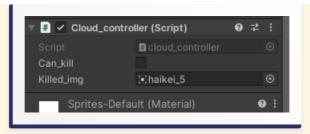


このWarpの使用は、どのオブジェクトにも移動できるので、pipeやwarpやそれ以外でも、なんでもペアに設定してみてください

あと、 この雲も試してみてください。 先ほどと同様に、ドラッグアンドドロップで設置して、設置された雲を クリックして、



can\_killにチェックを入れてください。



そして、遊んでみてください。雲にプレイヤーが触れるとどうなるでしょうか?

### まとめ

今回、ゲーム開発の一番楽しい部分を体験してみました。